

# 社会的なもの と 社会学的なもの

『他者という技法』以後

講師 **奥村隆** 氏  
(立教大学 社会学部)

2006年 2月 27日 (月) 14時  
開始

会場 **N334-2**  
(奈良女子大学文学部北棟3階)

※ セミナーの詳細は裏面をごらんください

#### <講師からのメッセージ>

私は1997年に『社会学になにができるか』、1998年に『他者という技法』という本を刊行しました。それ以降、ある時間が流れましたが、その間、「社会学」がなにを語るかについて、考え方の変化、あるいはある種の屈託を感じるようになったように思います。それは、「社会的なもの」と「社会学」のあいだの距離がなんらかの変化を経験してきた、ということなのかもしれません。この素朴な感覚から出発して、「社会的なもの」と「社会学的なもの」について考えるごく小さなヒントをお話できれば、と思っています。

参加費無料・申込み不要

企画 奈良女子大学大学院 村田(社会生活環境学専攻)、松原(複合領域科学専攻)